

広島県連合小学校長会から『新たな風を！』

県連小速報

令和7年度 No 5

3月2日発行

広島県連合小学校長会事務局
広島市東区光町一丁目 11-5-1003
TEL082-263-6381 FAX082-262-3822
E-Mail: kenrensho@do8.enjoy.ne.jp

教育者表彰（文部科学大臣表彰）受賞 広島県教育賞・広島県教育奨励賞受賞

祝

教育者表彰（文部科学大臣表彰）

学校教育の振興に関し、特に功績顕著な教育者の功労をたたえ文部科学大臣からこれを表彰するもの。

堀井 俊宏（広島市立観音小学校長）

《功績概要》

校長として卓越したリーダーシップを発揮し、教職員の主体性を生かした活気ある学校経営をしている。平成30年度～令和2年度まで、「個に応じた指導研究校」、令和4年度～令和5年度までは、「特色ある教育実践研究校」、令和6年度からは「授業改善実践研究校」の指定を受け、算数や理科教育の実践的な研究を行い、その成果を全市に普及した。

さらに、令和6年度は第57回全国小学校理科研究協議会研究大会の会場校として、研究成果を全国に発信し、高い評価を得た。

広島市小学校長会長、幹事長、広島県小学校教育研究会理科部会事務局長等を歴任し、高い専門性と的確な判断力及び指導力で、本市の小学校教育の振興発展に寄与している。

広島市小学校長会においては、今年度会長を務め、豊富な見識と実践を生かして会の運営を行い、公立学校の充実と発展に貢献した。

広島県教育賞・広島県教育奨励賞

学校教育において、教育賞は功績が特に顕著なもの、教育奨励賞は成果等が他の模範とし推奨できるものを県教育委員会が表彰し、県教育の振興・発展に資する。

【広島県教育賞】（個人）

石川 和明（海田町立海田南小学校長）

【功績概要】

令和3、4年度に、算数科のデータ活用領域を中心に校内研究を進め、思考力・判断力を育てる授業づくりに指導力を発揮するとともに、丁寧な児童対応ができるよう校内体制を整備し、自己肯定感を高める指導を行うことで生徒指導上の課題にも大きな改善が見られた。

令和5年度から「道徳教育推進拠点地域事業」の指定校の校長として、道徳科を要に各教科等を通じた道徳教育の推進に尽力している。令和5年度の「小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート事業」の指定校の校長として、小学校低学年段階から個別の学習支援に取り組み、成果を上げた。

また、「小学校外国語教育推進研修」の指定校の校長として、授業改善に向けた実践的な研修を実施し、児童の英語力の向上に貢献し、さらに、「小学校教科担任制推進の指定校」の校長として、専科指導や学級担任間での授業交換の取組を進め、成果を上げた。

豊田 浩矢（尾道市立高須小学校長）

【功績概要】

尾道市立久保小学校では、「生徒指導実践」指定校の校長として、生徒指導上の諸課題の未然防止に取り組み、校長のリーダーシップの下、組織的な生徒指導体制の充実を図り、児童の自己肯定感の育成や学力向上などの成果を上げた。

現所属校では、「生徒指導サポート実践」指定校の校長として、不登校の未然防止をはじめとする生徒指導の充実に取り組みるとともに、令和5年度から「小学校外国語教育推進研修」の指定校の校長として、外国語教育の充実並びに児童の英語力の向上に取り組んだ。

また、令和7年度には尾道市小学校校長会会長を務め、行政経験等を生かしながら、適切な指導・助言を行い、市内小学校長の資質向上を図り、尾道市の小学校教育の充実・発展に尽力した

【広島県教育奨励賞】（団体）

福山市立西小学校（校長 桑田 貴子）

【功績概要】

令和4年度に福山市の「効果的なICT活用実践研究校」の指定を受け、教師は「効果的に使う」こと、児童は「日常的に使う」ことを柱とし、教科等で育成を目指す資質・能力を確実に定着させ、これからの社会で求められる自律的に学び続ける力を育てる新たな学び方を身に付けるための授業改善に取り組んだ。

児童の一人1台端末に搭載されたツールやアプリケーションについて、低学年・中学年・高学年・中学校のそれぞれの段階でどのように活用できればよいかを一覧にした活用スキル体系表を学校の実態に合わせて作成し、発達段階に応じた身に付けるべきスキルを明確化した。

授業でのICTの活用だけでなく、校務のデジタル化も図っており、共有ドライブやWeb会議システム等の汎用的なアプリケーションを活用することで、校務の効率化を図るとともに、教職員の働き方改革や意識改革を行った。

三次市立甲奴小学校（校長 正平 浩運）

【功績概要】

体育科の授業を通して運動の楽しさを味わいながら、周囲との関わりを通して高め合う児童の育成を目指して、児童が「楽しくわかる・できる」「認め高め合う」授業づくりを行った。

コミュニティスクールをスタートしたことや小童小学校が当該校に統合されたことをきっかけに、甲奴町全体を巻き込んだ「こうぬ丸ごと大運動会」を開催し、保育園児からお年寄りまで、全ての年代が楽しめる運動会を開催するなど、地域に根差した教育活動を展開した。

企業と協力し、映像分析ソフトを導入するなど、ICTを活用した授業づくりを積極的に進めた。

当該校における長年の地域との連携、単元づくりに係る研究の蓄積を生かした「深い学び」のある授業の実現が、児童の体力・学力の向上や、集団性、自己肯定感の育成のみならず、教職員や地域のウェルビーイングにつながった。

☆ 今年度最後の各役員会の開催 ☆

1月7日に第7回幹事会を、1月23日に第3回総務会を、2月6日に中国地区小学校長会理事会・研修会を、2月20日に第4回理事会を開催しました。

中国理事会では、令和8年度中国地区広島大会の第一次案内を提案しました。

県連小理事会では、協議に入る前に、「子供と家庭をとりまく環境と支援について」と題し、広島県教育委員会乳幼児教育支援センター 保育ソーシャルワーカー 酒井 珠江 様から、ご講話をいただきました。

協議では、次の事項について審議しました。

- ・令和8年度総会・研究大会について
- ・不祥事防止対策特別委員会の取組状況 等

総会・研究大会では、文部科学省初等中等教育局 視学官 田村学様をお招きしてご講演いただくことになりました。



☆ 第73回中国地区広島大会に向けて ☆

令和8年11月20日(金)に福山市で開催する第73回中国地区小学校長会教育研究大会広島大会に向けて着々と準備が進められています。

前回の広島大会(令和3年)は、コロナ禍で参集しての開催でなかったこと、前々回の広島大会(平成28年)は2日間にわたっての開催だったということで、開催に係るノウハウがない中、それぞれの努力で準備を進めています。

とりわけ、本大会を主管する福山市小学校会は、現地実行委員会を立ち上げ、開催に向けて組織的・計画的に準備を重ねています。特に、11月21日(金)に開催された岡山大会には、10名近くの役員が視察を行い、前日準備から当日の運営に至るまで、大変熱心に情報収集に努められていました。

県連小においては、1月23日(金)に開催した第2回実行委員会では、花田教育研究委員長、橋本現地実行委員長、芳川県連小事務局長からそれぞれ説明があり、準備スケジュールに沿って予定通り進んでいることが確認されました。

☆☆☆☆☆☆ 事務局からのお願い ☆☆☆☆☆☆

【年度末・年度始め事務処理について】

(1) 感謝状・記念品料について

一昨年度から定年延長になりましたが、感謝状・記念品料は役職定年時にお渡しすることになりました。役職定年者様にお渡しする感謝状等は、第4回理事会で各理事様にお渡ししました。それ以外で校長会を退会される方は新聞発表以後、郵送いたします。記念品料は、各組織団体で立て替えておいてください。4月の第1回理事会で事務局よりお支払いします。

(2) 令和8年度初めの事務のお願い

各組織団体の代表事務取扱者の方に宛てて、

- ・「組織団体会員名簿」、「組織団体役員名簿」等の作成のお願い
- ・新年度会長候補者の選出その他のお願い

の文書を、3月中にメールで送付します。

4月9日(木)までに事務局宛メールでご報告をお願いします。

これらのご報告をもとにして、4月17日(金)に第1回理事会を開催します。

【年度始の主な日程・大会期日】

令和7年度監査	4月4日(土)	10:00	県連小事務局
第1回幹事会	4月4日(土)	13:30	東区民文化センター
第1回理事会	4月17日(金)	13:30	東区民文化センター
第1回各委員会	4月23日(木)	14:00	東区民文化センター
総会・研究大会	5月14日(木)	10:30	広島県民文化センター

この1年間、事務局へのご協力ありがとうございました。